

## 平成30年度第1回 産業衛生技術部会 幹事会・総会資料

### 平成30年度第1回産業衛生技術部会幹事会

日時：平成30年5月18日(金) 12:00～13:00

会場：熊本市民会館 2F 第6会議室

### 平成30年度産業衛生技術部会総会

日時：平成30年5月19日(土) 11:00～11:30

場所：くまもと県民交流館パレア9F会議室1 (D会場)

### 議事

1. 今年度産業衛生技術部会奨励賞受賞者について
2. 平成29年度産業衛生技術部会事業報告及び決算
3. 第91回日本産業衛生学会(熊本)について
4. 第28回日本産業衛生学会全国協議会(東京)について
5. 温熱環境研究会との合同企画開催について
6. 日本作業環境測定協会との連携について
7. その他

#### 1. 今年度産業衛生技術部会奨励賞受賞者について

榊原 洋子(愛知教育大学)・海福 雄一郎(ガステック)

#### <受賞者略歴>

榊原 洋子(さかきばら ようこ)

愛知教育大学 教育学部保健体育講座准教授(危機管理室専任担当、衛生工学衛生管理者、石綿作業主任者、公害防止管理者、危険物取扱主任者、特定高圧ガス取扱主任者、等)

学歴：1984年愛知教育大学卒業、2005年放送大学大学院修了(学術修士)

職歴：1984年愛知教育大学文部技官教務職員、助手、2009年保健環境センター講師、准教授を経て、現在に至る

日本産業衛生学会における研究発表等

- ・大学における学生の有機溶剤曝露と安全衛生対策,2010.10
- ・大学のブロンズ鑄造工房における鉛ヒューム及び砂じん曝露の低減対策,2011.5
- ・大学のブロンズ鑄造工房における砂じん曝露対策について,2012.5
- ・ひる石吹付け材撤去作業時の石綿粉じんの飛散について,2013.5
- ・大学における有機溶剤特殊健診で認めた尿中馬尿酸濃度上昇と塩化ベンゾイル使用,2014.5
- ・トリクロロエチレン、トルエン、ギ酸の廃試薬運搬中の事故による皮膚障害,2015.5
- ・既存建物におけるクリソタイル混和が判明したひる石吹付け材とその劣化剥離,2016.5
- ・図書館の古典籍の頁間に撒かれていた石綿含有白粉への労働衛生的対応,2017.5

○生涯教育好事例 「大学のブロンズ鑄造工房における鉛ヒューム及び砂じん曝露の低減対策」 2012.1

○第86回産業医・産業看護全国協議会、第11回産業医・産業歯科医・産業看護・産業技術四部会合同セミナーの開催

海福 雄一郎 (かいふく ゆういちろう)

株式会社ガステック 品質保証室室長 技術部開発次長、環境計量士

学歴・職歴：平成7年 横浜国立大学 工学部 物質工学科卒業

同年 株式会社ガステックに入社、同社 技術部にて勤務

研究テーマ：検知管、捕集管、標準ガス、分析支援製品の開発、研究機関との共同研究

学会活動：日本産業衛生学会、日本労働衛生工学会、室内環境学会、大気環境学会

各活動 (2015年～)：

(1) リアルタイムモニタと「見える化」ソフトを活用した化学物質のリスクアセスメント (2015年5月；日本産業衛生学会 最優秀演題賞)

(2) ISO 17621:2015(検知管)規格制定までの経緯について(2016年11月；労働衛生工学会)

(3) 厚生労働省委託事業 検知管を用いたリスクアセスメント手法検討委員会 (2016年5月～2017年3月)

(4) 書籍『環境と福祉を支えるスマートセンシング』 (2016年共著：(一財)電気学会 第20回優秀技術活動賞 グループ著作賞 受賞)

## 2. 平成29年度産業衛生技術部会事業報告及び決算

### (1)第90回日本産業衛生学会 (東京)における研修会、シンポジウムの開催

- ・シンポジウム「化学物質のリスクアセスメントのステップアップに向けて  
-実践事例を踏まえた 成果と今後の課題-

平成29年5月11日(木)13:40-15:40 TFTビル東館9階 研修室908

座長：橋本晴男 (東工大)、村田 克 (早大)

「法制度の概要と最近の変更点、および リスクアセスメント の進捗状況」奥村伸人(厚労省)

「化学系企業におけるリスクアセスメントの実践事例と課題」藤間俊彦 (旭硝子)

「自動車系企業におけるリスクアセスメントの実践事例と課題」佐野千登志(本田技研)

「中小企業における実践状況と課題」中家隆博 (関西環境科学)

- ・第24回産業衛生技術専門研修会

平成29年5月13日(土)10:30-11:30、TFTビル東館9階 研修室901

「3DのVDT作業の影響と対策-職場におけるシースルーHMDや立体映像」宮尾克(名大)

- ・自由集会「検知管を用いた簡易リスクアセスメントガイドブックについて」

平成29年5月13日(土)14:00-15:00、TFTビル東館9階 研修室906

座長：山田憲一 (中災防)

「検知管を用いたリスクアセスメントの紹介」橋本晴男 (東工大)

指定発言：藤間俊彦 (旭硝子)

- ・産業衛生技術フォーラム

平成29年5月13日(土)16:00-18:00、TFTビル東館9階 研修室907

「多店舗展開している小売業で頻発する転倒災害を防ぐためには」

座長：宮内博幸 (産医大)

「小売業向けの滑りによる転倒防止ツールの開発」大西明宏 (安衛研)

「東京労働局管内で発生している小売店、飲食店における

典型的な労働災害事例と対策について」今井義人 (東京労働局労働基準部安全課)

「平和堂における転倒災害とその対策」河津雄一郎 (平和堂)

(2)第27回日本産業衛生学会全国協議会（高知）における研修会、シンポジウムの開催

・産業衛生技術専門研修会

平成29年11月24日(金) 9:00-9:50 高知県立県民文化ホールグリーンホール

座長：宮内 博幸（産業医科大）

「地元企業の労働衛生管理の実際」小松 千秋（ヤンマー農機製造）

「化学物質の経皮曝露とその防護について」田中 茂（十文字学園女子大）

・産業衛生技術シンポジウム

平成29年11月24日(金) 10:00-12:00 高知県立県民文化ホールグリーンホール

テーマ：大規模災害時のリスクへの対応

座長：加藤隆康(産業衛生技術部会長,豊田労働基準協会)・中原浩彦(JXTGエネルギー)

「危険物事故への対応～現場安全の確保～」萩原貴浩（海上災害防止センター）

「原子力関連施設における災害時対応」中村尚司（東北大学名誉教授）

(3)産業衛生技術部会総会の開催

平成29年5月13日(土)15:30-16:00 TFTビル東館9階 研修室907

(4)産業衛生技術部会幹事会の開催

第1回：平成29年5月13日(土)11:50-12:50 T F Tビル東館9階 研修室901

第2回：平成29年11月24日(金)12:00-14:00 高知県立県民文化ホール4階第6多目的室

(5)各委員会の活動

1) 企画運営委員会 委員会を4回開催し、部会企画等の運営を検討した。

2) 教育研修委員会 産業衛生技術専門研修会（第24回および第25回）を開催した。

3) 広報委員会 部会ホームページおよびメーリングリストの維持管理を行った。

4) 表彰委員会 今年度の産業衛生技術部会奨励賞の受賞者を選定した。

(6)平成29年度産業衛生技術部会決算

（別紙参照）

3. 第91回日本産業衛生学会(熊本)について

・産業衛生技術部会幹事会

日時：2018年5月18日(金) 12時～13時

場所：熊本市市民会館 2F第6会議室

・産業衛生技術専門研修会

日時：2018年5月19日(土) 9時～11時

場所：くまもと県民交流会館パレア 9F会議室1（D会場）

テーマ：地元企業の労働衛生管理の実際

1) 「地元企業の産業衛生活動」中川剛（株式会社野田市電子）

2) 「黒崎播磨（株）の産業衛生管理について」安部太喜（黒崎播磨株式会社）

座長：宮内博幸・産医大

・産業衛生技術部会総会

日時：2018年5月19日(土) 11時～11時半

場所：くまもと県民交流会館パレア 9F会議室1（D会場）

- ・産業衛生技術フォーラム

日時：2018年5月19日(土) 15:30～17:45

場所：くまもと県民交流会館パレア10階パレアホール (E会場)

テーマ：我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成や活用、展開

座長：原邦夫・産医大

「世界的な動向とIOHAの最近の活動」橋本晴男・東京工業大学 特任教授

「我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成の現状」飛鳥滋・日本作業環境測定協会 専務理事

「ISO 45001について」齊藤慎吾・中央労働災害防止協会 技術支援部次長兼ISO規格推進室長

#### 4. 第28回日本産業衛生学会全国協議会（東京）について

(2018年9月14日(金)～16日(日)・東京工科大学 蒲田キャンパス)

- ・産業衛生技術専門研修会（兼 教育講演）

9月15日(土) 14:20～15:20

「米国のインダストリアル・ハイジニストの活動について」 持田伸幸・JXTGエネルギー

- ・産業衛生技術シンポジウム

9月15日 16:30～18:00(予定) (18:20まで延長可能)

「わが国の産業衛生技術専門職について - ハイジニストの意義」日測協のハイジニスト、プラス、日本での課題、多国籍製造業の中で日本の衛生管理者とIHがいる場合の利点や課題、など  
進行案：

(1) 趣旨説明 演者検討中(15分)

(2) 奥田篤史・(株)富士清空工業所(30～40分)

日測協のハイジニスト制度の概要，資格取得のきっかけ，資格を取得したことの意義など

(3) 「既存の技術専門職について(仮)」A(衛生管理者または産業医等)(30～40分程度)

産業衛生管理の実情やニーズから見た既存の専門職の役割上の過不足，ハイジニストを含めた専門職のあり方，など

(4) ディスカッション(参加:持田先生，奥田先生，演者A先生)(30分程度)

- ・公募企画ワークショップ

9月16日(日) 9:00～11:00

「検知管・直読計の使い方、リスクアセスメントでの活用法」

検知管や直読計の実機に触れ、操作の体験を通してその使用、活用の方法を学ぶ。

- ・平成30年度第2回産業衛生技術部会幹事会（日時未定）

#### 5. 温熱環境研究会との合同企画開催について

#### 6. 日本作業環境測定協会との連携について

(別紙「日本作業環境測定協会との協力について（状況報告）」参照)

## 平成29年度第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録

日時：平成29年11月24日(金) 12:00～

会場：高知県立県民文化ホール 4階 第6多目的室（全国協議会第3会場）

出席(敬称略・順不同)：

照屋浩司(担当理事)、加藤隆康(部会長)、田中茂(副部会長)、  
森洋、中村憲司、圓藤陽子、田口豊郁、浜井盟子、宮内博幸、伊藤昭好、  
落合孝則、對木博一、野原誠一郎、原邦夫、津田洋子、村田克

添付資料(当日配布)：平成30年度部会予算案、「個人サンプラーを活用した作業環境管理のための専門家検討会」開催要項

### 第27回日本産業衛生学会全国協議会会期中の産業衛生技術部会行事

平成29年11月24日(金) 高知県立県民文化ホール

9:00-9:50、グリーンホール(第2会場)

・産業衛生技術専門研修会

座長：宮内博幸・産業医科大学 教授

「地元企業の労働衛生管理の実際」小松千秋・ヤンマー農機製造株式会社

「化学物質の経皮曝露とその防護について」田中茂・十文字学園女子大学大学院 教授

10:00-12:00、グリーンホール(第2会場)

・産業衛生技術シンポジウム

テーマ「大規模災害時のリスク対応」

座長：加藤隆康・産業衛生技術部会部会長、中原浩彦・JXTGエネルギー

「危険物事故への対応～現場安全の確保～」萩原貴浩・海上災害防止センター 防災部長

「原子力関連施設における災害時対応」中村尚司・東北大学名誉教授

12:00～、4階 第6多目的室(第3会場)

・平成29年度第2回産業衛生技術部会幹事会

### 1. 第91回日本産業衛生学会(2018.5/16-19、熊本市民会館ほか)における部会行事について

以下の内容で行事計画が報告され、この通りに進めることでした承された。

・部会総会および幹事会

・産業衛生技術専門研修会(地元企業の労働安全衛生管理の実際) 5/19午前

講師：安部太喜・黒崎播磨株式会社、宮近大輔・三菱重工業長崎造船所

・産業衛生技術フォーラム 5/19午後

テーマ案：我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成や活用、展開  
内容、講師案(各氏了承済み)：

・世界的な動向とIOHAの最近の活動、橋本晴男・東工大

・我が国の現状、飛鳥滋・日本作業環境測定協会専務理事

・ISO 45001について、齊藤慎吾・中災防

2. 「化学物質の個人ばく露測定のガイドライン」英訳版（“The Guideline for Personal Exposure Monitoring of Chemicals”）のJOH掲載

査読を終え、本文（Appendixは電子版のみに掲載）を6分割して9月号から掲載開始。

3. 日測協と技術部会の協力関係について（オキュペイショナルハイジニスト資格に関して）

橋本部会長からのメールにて、日測協・飛鳥専務理事と覚書（または同等の文書）を交わすことで相談しており、これから具体的な文面の検討に入ることが報告された。

4. 厚生労働省「個人サンプラーを活用した作業環境管理のための専門家検討会」

橋本部会長からのメールにて、10月から標記の委員会がスタートし、「個人ばく露測定に関する検討会」からは橋本部会長と村田が委員に入っているとの報告があり、今後の議論に応じて適宜、検討会メンバーへ意見を聞くとのことであった。

5. 次年度事業予算案および事業計画案について

来年度部会事業予算案及び事業計画案を、添付資料及び以下の通りとすることです承された。

平成30年度産業衛生技術部会事業計画案（部会長：加藤 隆康）

1. 産業衛生技術フォーラムおよび産業衛生技術専門研修会を第91回日本産業衛生学会(熊本)において開催する。
  2. 第28回産業医・産業看護全国協議会(東京)を他部会と共同で開催する。
  3. 部会総会を第91回日本産業衛生学会(熊本)において開催する。
  4. 部会幹事会を第91回日本産業衛生学会(熊本)および秋季に開催する。
  5. 他の部会と協働して合同行事を開催する。
  6. 各地方会と協働して産業衛生技術に関する研修会を開催する。
  7. 産業衛生技術部会奨励賞の候補者を選考し、該当者を表彰する。
  8. 5委員会の活動を行う。
- (1) 企画運営委員会 (2) 教育研修委員会 (3) 広報委員会 (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (5) 表彰委員会

以上

